



新十津川町

概要

新十津川町は、少子高齢化・過疎化により路線バスの利用者は減少しており、将来、その維持が困難となることが懸念されているほか、一部地域では、1日1往復しかバスがないといった極端に公共交通が不便な状況が生じていることから、高齢化等に対応した新たな公共交通の導入、各種交通手段の乗継ぎ機能を持つミニターミナルの整備や生活交通路線の維持等により、安心と利便性の高さを実感できる公共交通環境を確保し、持続可能な公共交通体系の構築を図る。

高齢化等に対応した新たな公共交通の導入(21年度～)

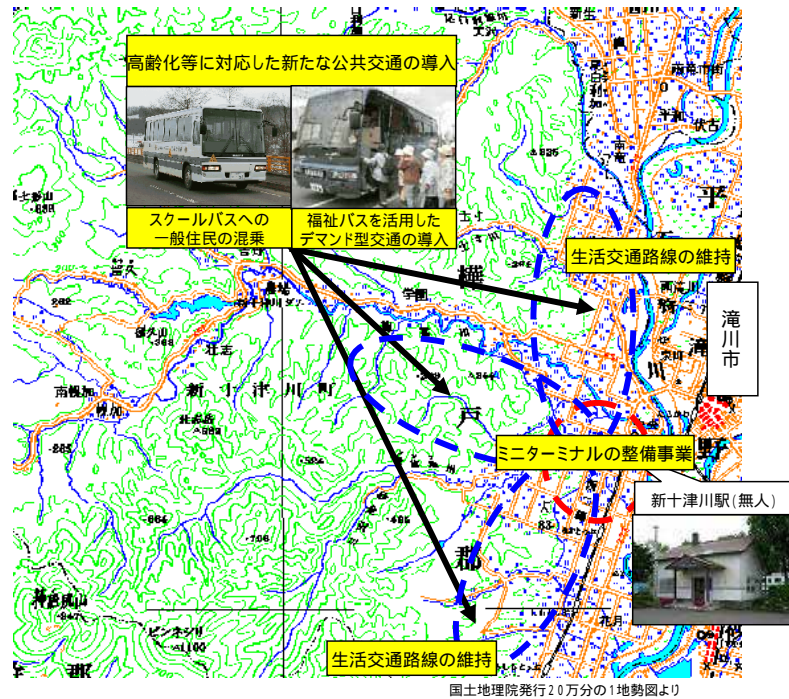
・住民・行政・民間の連携協力により、既存のスクールバスへの一般住民の混乗運行の実施、高齢化率の高い地域へのデマンド型交通導入や高齢者に優しい車両の導入、新たな交通事業者による花月市街地と砂川市中心部との連絡の維持等、郊外部においても安心できる生活環境を確保する。

ミニターミナルの整備事業(21年度～)

・町内公共交通やタクシー・自転車と生活交通路線バス等との乗継ぎ機能を持ち、まちのにぎわいづくりにも寄与するミニターミナルの整備を行う。
・ミニターミナルに隣接している郵便局の空きスペースを活用し、商店街情報提供スペースを兼ねた冬でも快適な待合空間を確保する。

生活交通路線の維持(21年度～)

・隣接の浦臼町、北竜町及び雨竜町の住民の生活交通路線としても利用され、町中心部を運行している滝川浦臼線・滝川北竜線を維持し、中空知圏における求心力の向上を図る。
・町中心部と滝川市中心部の連絡路線である滝新線については、路線の延伸やピストン輸送など利便性を高める方策を検討の上、路線を維持する。



国土地理院発行20万分の1地勢図より

新十津川町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容	協議会開催状況	3回開催	分科会等開催状況	-	回数は、平成21年度末までの開催予定
デマンド方式による町内輸送 ・2ヶ月間程度の新十津川型デマンド方式による実証運行 ・路線バス、福祉バス、スクールバスの機能を一体化 ・運行設備の確保	公共交通サービスに関する情報提供 ・地域公共交通パンフレット作成 ・高齢者やスクールバス保護者に対して、説明会等の啓蒙活動 調査・研究等 ・実証運行の調査分析、改善計画の策定				

実施状況	公共交通の利用促進策の実施と公共交通サービスに関する情報提供
デマンド方式による町内輸送 ・平成21年10月9日から平成21年11月30日まで運行 ・花月弥生・大和上総進・徳富総進の3方面が対象 ・路線バス、福祉バス、スクールバスの機能を一体化させて運行	・実証運行の方法等について、パンフレットを3,000枚作成し、町内全戸に配付 ・高齢者やスクールバス保護者に対して、説明会等の啓蒙活動を実施 調査・研究等 ・実証運行の調査分析、改善計画の策定は実施中

自己評価のポイント

・地域住民の移動手段確保の必要性は増しており、新十津川型デマンド方式による効率的な輸送は適切な事業と評価する。
・スクールバス混乗は保護者から、スクールバスの降車時刻が不規則になる不安の声があったため、混乗について見直しをする必要性がある。

二次評価のポイント

自己評価のとおり、持続性を考慮し、地域に適した交通体系を構築するよう期待する。